

高橋 八重典 議員 政新会



問 タクシー補助事業の緩和と拡充を

答 1乗車複数枚の利用を可能に

問 コミュニティバスの見直しはいつか。

答 (市民協働課長) 来年度に社会実験運行、令和4年度には実施。

問 高齢者福祉タクシー料金助成事業の条件は。

答 (介護高齢課長) 要介護・要支援認定を受けた方、または介護予防・日常生活支援総合事業の対象者。

問 弥富市ささえあいセンター買い物支援サービスを受ける条件は。

答 要介護認定を受けた方など。

問 市内、65歳以上の高齢者数は。

答 1万1504人。
問 75歳以上後期高齢者数は。

答 6018人。
問 75歳以上の人口増加予測は。

答 2025年には、7013人。

問 移動支援の4事業の条件を緩和、拡充しては。

答 (市長) 制度の中で困っている人に支援できる利用条件を設定。

問 タクシー補助での利用者負担の平準化は。

答 (健康福祉部長) 1回の乗車で複数枚まで使用を可能にして利便性を図る。

問 公共交通の長年の課題と提案した事の総括を。

答 (市長) バス部分とそれを補完するタクシー等の移動手段の枠組みでの運用を検討。

問 穂波通線の未整備区間は。

答 (土木課長) 1・3kmの内200m。

問 今後の整備計画は。

答 早期供用開始に向け、地権者と交渉を行い、道路整備を進めていく。

問 国道1号の接続はどうするの。

答 (建設部長) 丁字による交差点となり、三百島交差点の信号機を移設する。

問 中央幹線1号から4号までの未整備区間は。

答 (土木課長) 間崎二丁目交差点北0・4kmから三好五丁目交差点付近までの約1・5km区間。

問 穂波通線から中央幹線4号の総延長は。

答 約8・3km。

問 未整備区間は総延長の何割で距離は。

答 約2割で1・7km。

問 幹線道路の重要性から、未整備区間の早期完結への考えは。

答 (市長) 南北軸は東西軸に比べ脆弱であり、東西軸の広域幹線道路に接続する地域幹線道路として重要な路線と認識。早期の整備を推進する。



▲買い物支援サービスの車両

問 市内縦貫道の早期整備を！
答 南北を結ぶ重要路線として整備



▲寛延地内鋳物工場付近(未整備区間)